

倫理観

「こんな家に生まれた子供は運がいいね。不平等だな。」
「社会で成功できるかどうかは本人次第だと思う。」豪邸の前を通りかかった2人の高校生の対話が、昨年の大学入学共通テストの『倫理』で出題されました。成功のカギは出自という運命か。それとも努力なのか。「親ガチャが出題された！」とネット上で話題になりました。

子供がどんな親の元に生まれるかは運任せ。初期設定により進路が左右される。人生にも『当たり』『ハズレ』があるのか。さながら何が出るかわからないカプセル玩具のように。そんな意味合いの俗語です。

大志を抱けと言われても…。諦念が色濃い。例えば親からの虐待や貧困。本人の努力ではいかんともし難い。就職しても非正規です。居場所を失い、心を病んでしまう。孤立と絶望が他者への暴力に変質する。自暴自棄の『無敵の人』が起こす無差別殺傷事件である。京都地裁が先日、36人が犠牲になった京都アニメーション放火殺人事件の被害者に判決を言い渡しました。

高校の『公共』の教科書に、親ガチャの関連を説く哲学者ジョン・ロールズの名著『正義論』と、これを批判する自由至上主義を紹介している。冒頭の入試問題の背後にある思想です。無敵の人は、私たちの隣人かもしれない。凶行を翻意させる方途はなかったのか。思い問が残ります。

鎌野



命数とは

今年の7月で還暦になる「ヒデキ還暦！」勝亦英樹です。
去年の12月に一人、今年の2月に2人と、地元に住んでいた小・中学校の同級生が3人、立て続けに亡くなりました。3人とも癌でした。そのうち2人は中学校の野球部で一緒に部活をした仲間、更にその中の一人は、御殿場の聖マリア保育園から富士岡幼稚園、富士岡小・中と一緒に幼馴染でもあり、社会人になってからも同じソフトボールチームで、30年近くプレーを共にした仲でした。

11月にあった父親ソフトボールの駿東大会にも、富士岡小学校区チームの一員として、病み上がりながら参加してくれて、決勝戦に代打で出てくれました。それが今生の分かれになるとは夢にも思いませんでした。とても残念です。2年ほど前に大腸癌を患い、その時にはガリガリに痩せてしまっていたのですが、仕事に復帰してからは体重も徐々に戻り、安心していたのですが、抗がん剤治療は続けていたようで、最後はあちこちに転移してしまっただけです。

亡くなる前の月曜日に突然、彼の職場の仲間から連絡があり、かなり悪いのでお別れをするなら、家族の方も来ていいと了解を貰ったということで、水曜日に病院へ行こうとしていた矢先、火曜日の夕方に亡くなってしまいました。火曜日に行った方は、既に意識がなかったそうです。とても温厚で、正義感の強い、いい男でした。いい人は、早くなくなると言いますが、重ね重ね残念です。

この「木配り」でも書きましたが、私の祖父は67歳、父が69歳で亡くなっています。なので、私の目標は、70歳オーバーなのですが、現在の体重は113kg。同級生が立て続けに逝ったので心配になり、人間ドックで引っかかった検診に直ぐ行きましたが、とりあえずは異常ありませんでした。人間、いつ何が起こるか分かりませんので、死んだら貰えない年金を60歳になったら、とにかく貰いたいと願う、今日この頃です。

英樹



配り

第
298
便

勝亦製材駿河鉄骨棟

住まい塾御殿場教室
TEL (0550) 87-0048
FAX (0550) 87-1237
〒412-0035 御殿場市中山518番地

赤黒い煙に空は被われて烈火の大地よ春告げる野焼き
ねがみともみ



足裏と大事なものは目立たずにこの頃気づきマッサージする
林なをみ



法多山石の階ながながと登れば自ずと額づく本堂
勝亦りつ子



およげたいやきくん

日本人で「およげ！たいやきくん」を知らない人はまず居ないのではないだろうか。1975年ひらけ！ボンキッキのオリジナルナンバーとして子門真人が歌い大ヒットした童謡だ。日本でレコード売り上げ枚数が最も多いシングル盤の記録を持っているらしい。

そんなおよげ！たいやきくんが久しぶりにラジオから流れてきたある日、歌詞を何気なく聴いていてふと思ったことがある。「毎日、毎日、僕らは鉄板の上で焼かれて嫌になっちゃうな。」

まず最初にたい焼きに人格、意識があるという大前提はココでは疑わないでおく。そのうえでこの歌詞を読み解いてみた。

まず冒頭の「毎日毎日」である。昨日も一昨日も、その前も焼かれていなければ「毎日毎日」などという愚痴にも聞こえる思考は生まれえないではないか。つまり昨日焼かれたたい焼きも一昨日焼かれたたい焼きも、一つ(一人)の同一の意識として認知されているのだ。さらに「僕ら」なのである。複数形なのだ。これはつまり、毎日いくつも作りだされるたい焼き一つ一つに、大きな一つの統一した意識があるという事になるのではないか。ユングで言うところの集合的無意識に近いものかもしれない。ではその「たい焼きとしての意識」はどの段階で生まれるのであろうか。焼きあがった時点であれば「鉄板の上」とならないのではないか。焼きあがっていれば鉄板から外され陳列のトレーに並べられるのが常だ。つまり「毎日毎日僕らはトレーの上に並べられて嫌になっちゃうよ」になりはしないだろうか。なので焼かれている最中以前であるのがこの歌詞にふさわしいはずだ。ではいつか。たい焼きは小麦粉と玉子と水を混ぜた生地とあんこで出来ている。粉の時点では今川焼になる可能性も捨てきれない。そもそもあんこを挟んで焼き上げられるという保証はない。うどんになる可能性だってある。そうなると粉が屋台に運ばれ、寸胴の中で卵と水とを混ぜて生地にして以降、と考えた方が良さそうだ。やはりたい焼き型の鉄板に生地が注がれて以降と考えるのが妥当ではないか。であれば、生地が鉄板に注がれた時点なのか、生地にあんこが乗った時点なのか、半分ずつの生地が合わさった時点も捨てがたい。いや、そもそも生地なのか。あんこの可能性もある。あんことしてたい焼き屋台に運ばれた時点でたい焼きとしての意識が芽生えるのか。いやでもそうなると昨日の意識はどのように…昨日の生地なのか、あんこも昨日のものか。であれば焼く前の生地を数日使いまわすのか。それは衛生的に良くないのではないか。おじさんの屋台の衛生管理は大丈夫なのか…まさか前日の残り物のたい焼きを再加熱？だから毎日毎日???

謎は深まるばかりだ…



柳田敏和

移ろう時代

現在西暦2024年、以前にも書きましたが、昭和100年になろうかという時代。テレビアニメ「サザエさん」テレビ開始が1969年だいたい1970年代(昭和45年)の家族。3世代同居、東京都世田谷区の木造平屋建て5LDK。畳の部屋が基本。7人とタマ。大家族ですが、フネさんもサザエさんも専業主婦。先日主人公の声を担当していたTAMAさんが天国へと旅立ってしまった、「ちびまる子ちゃん」は、1974年(昭和49年)「サザエさん」とほぼ同時期。3世代同居、静岡県静岡市、木造平屋建、3LDK。6人家族で女性陣は専業主婦。「ドラえもん」は、基本的には1980年代(昭和55年)、東京都練馬区、木造二階建て、5DK。野比家は賃貸。3人家族とドラえもん。おかあさんは専業主婦。「クレヨンしんちゃん」だいたい、1990年代後半～2005年(平成17年)あたりの時代設定。埼玉県春日部、3LDKか4DK。木造二階建て。新築建売だそうです。核家族の4人とシロ。みさえさんは専業主婦。面白い!!と最近見ている「クレヨンしんちゃん」ですら、約20年前の時代設定なんだそうで、2005年リニューアルのドラえもんはスマホや薄型テレビは登場しますが、それでも基本背景は約20年前。サザエさんやちびまるこちゃんは今の子供達にとっては《懐かしい》ではなく、謎の設定の話かもね。って。うなずきます。時は過ぎていきます。4つの家族、時代設定は違えど女性は皆さん専業主婦です、それはご主人の年収で食べていけた時代ということ。今は、男女共同参画社会とか言いますが、なかなか大変だと思います。時代は過ぎていきます。家に人寄せをした時代の茶碗やおわん。大皿や小皿。そばやおむすびを入れ、運ぶための、もろ箱。だんだん出番が少なく・いや。なくなってきました。そうそう、座布団もあります。大量の……。どうにかしないと、だんだん捨てるのも大変になってきます。そんな時代になってきました。サザエさんがほわあっと感じるのは、いろいろ経て現在位置から見る事ができるからでしょうか……。ね。力が入らないアニメ「クレヨンしんちゃん」のオープニング歌「スーパースター」好きなんですよ。

ねがみ



春

もうすぐ新年度ですね。以前、卒業のため引っ越しする三男のことを書きましたが、無事引っ越しを終え(1ヶ月半経つが多くの段ボール箱はそのままですが)4月から新社会人です。とりあえず子育てはこれで終わりということでしょうか?感慨深い。

三兄弟は、三人共地元就職しましたので引き続き実家暮らしです。お金が溜まったら一人暮らしをしたいのか聞いてみましたが、当分は出る気はないようです。大学時代の一人暮らしで、家事の大変さが身にしみたのか、洗濯やご飯が三食用意される生活はとても快適なようです。しばらくは6人家族の生活が続きそうです。



祥子